

2024年度 第2回苦情処理委員会

日時 12月27日(金) 14:00~15:00

場所 ちどり保育園会議室

出席者 第三者委員(原田秀一)(井上准子)

園長(井上邦子) 主任(中村智絵)

《議題》

1) 今まで(7月~12月)の経過報告

※ 「苦情処理委員会」にかける事例はなし。

① 苦情対応事例

◎ 1歳児保護者より

11月に在園児専用SNSで配信された写真販売の中に、1歳児が友だち(1歳児)を噛み、噛まれた子が泣いている写真がアップされていた。配信後2日目に該当写真は削除した。

➡ 専属カメラマンによる販売写真の配信については、チェックが不十分だったので、双方の保護者へは、謝罪と今後の対応について説明した。(園長・カメラマン)

保護者への配信前に園で再確認するようにする。何百枚というデータ量の為、方法については検討中である。

個人情報については、改めてニュース等の配布物・写真撮影・HPへの掲載について配慮の徹底をする。

② 安全と衛生の対策・危機管理

◎ 緊急時(感染症関連・災害等)の保護者への連絡方法については sigfy(保護者専用)で情報発信をする。(安全確保・送迎等)

感染症の対策と情報の提供。

【冬の感染症】12月に入り幼児クラスを中心にインフルエンザが流行した。

その他、嘔吐下痢、溶連菌感染症等の感染症が流行っている。

行事についても、バス遠足でのマスク着用、もちつきの手洗い消毒等を徹底し衛生管理に配慮し行った。

【避難訓練】火災だけでなく地震、水害、不審者対策も想定し毎月、避難訓練を実施した。

【風水害】

・2024年 8月30日(金):台風により原田2丁目に河川氾濫の避難指示発令。

開園前に避難指示が出た為、休園の措置をとった。1999年には床上浸水の被害経験がある。水害の歴史を職員、保護者とも共有し今後の防災対策に繋げている。

- ※ 災害時の対応については、情報収集、行政や保護者への連絡、避難時の対応、備蓄品・持出品の確保、職員間の連携について確認した。

【ヒヤリハット・事故対応】

- ・事故の対応：子どものケガや事故についてはヒヤリハットも含め問題点を共有し、事故防止に努めた。

- ※ 9月～11月：打撲、裂傷 4件（2歳児・4歳児）

- ※ 12月：宗教食誤食 1件（0歳児）

② 保育方針の理解・ 保護者との連携

- ・保育の中で大切にしたい事を保護者と共有していく。（送迎時・懇談会・公開保育等）
- ・6月8日（土）：幼児クラスの公開保育 ・7月6日（土）：乳児クラスの公開保育
- ・7月13日（土）：平和のつどい ・9月、10月：わくわく広場

園児の遊びの様子を観察し学習をした。保護者もワークショップを通して遊びの体験をしてもらい遊びの大切さについて学習した。その他、食の学習と試食・オンライン講座。両親2人での参加も多く、保育理解と保護者同士の交流にもなっている。秋のわくわく広場では、子どもの身体の育ちを大切に園と家庭で取り組んだ。今後も公開保育やクラス懇談会での保護者との学習、交流を大事にしていく。

- ・特に新入園児保護者への支援は、信頼関係をつくりながら継続した声掛けをしていく。共に子育てをしていく関係づくり
- ・子ども同士の関係、保育の中で大切にしている事や発達、手立てなど保護者にも伝えていく。
- ・外国籍の子どもも増えてきているので、保育の中でも異文化理解が必要になっている。障がい児保育とあわせて、一人ひとりを尊重した保育を追求していく。
- ・、育児支援、保護者の心のケア、虐待、異文化コミュニケーションの対応。

・ちどり保育園は今年度50周年の節目を迎えた。11月2日、3日に周年行事を行った。記念誌の編集作業やバザーなど、卒園児保護者と共に園の歴史を振り返り準備をした。行事を機に懐かしい方々と集まれたことは、改めて人と人とのつながりが財産であることを再認識できた。また、当日も卒園児、保護者 OBOG、職員等、100名程が集う会となった。ここから更に未来に繋げていきたい。

④ 地域との関係づくり

・50周年行事の際には、自治会長さんには挨拶行き、地域の方にもチラシを配布した。よりどりちどり館の認知度も高く、保育園と同様、地域に受け入れられているのを感じた。

(よりどり子ども食堂・父母会バザー等・ゴミ拾い散歩レク活動も実施)

・ふれあいサロンも「ひまわり原田」からの参加もあり、地域の繋がりを大切にしている。

・現在、送迎時の駐車場待ちの苦情などは、ほとんどない。

⇒ 今後も地域の中の保育園（社会福祉法人）として、どのようなつながりが持てるか今後の課題。

◎ 次回開催は3月予定。